

## 5～11 歳のお子さまの コロナワクチン接種について

この年齢層の新型コロナウイルス感染症の大多数は軽症ですが、酸素投与などを必要とする中等症例も報告されています。また後遺症に関する報告もあります。

全年齢層の感染者が増加すると、ワクチン未接種の小児の割合が増加し、重症例が増えることが予想されます。特に基礎疾患があると重症化しやすいことが報告されています。

日本小児科学会、日本小児科医会も接種には意義があるとし実施を求めています。

しかし、基本的に**重症化しにくい小児への接種の意義**は、成人や高齢者とは**同じではないと言えます**。



### メリット

- ・基礎疾患のある子どもの重症化を防ぐことが期待される
- ・健康な子どもの発病予防および発病してしまった場合の重症化を予防する



### デメリット

- ・発熱などの副反応
- ・成人も含めた長期的な体への影響や、新たな変異株に対する有効性に関する十分な情報やデータがそろっていない

5～11歳のワクチン接種の最大の目的は、子どもたちへの厳しい日々の生活の制限や規制の緩和です。

また、接種をしない選択をしても、非難されたり差別を受けることは決してあってはなりません。

当法人では安心して接種できる場を提供し、十分な説明を心がけています。少しでもご不安な点がございましたら、どんなことでもお気軽にお尋ねください。